『読み』の授業研究会

第２回神奈川学習会のご案内

日　時：６月２０日（土）午後１時１５分～５時００分  
場　所：川崎市教育文化会館　２階　第一会議室

内　容：①物語の授業入門　 －教材「お手紙」を例に－  
　　 　 ②言語活動のヒント(２)音読・群読のポイントと実習  
　　　　③国語の授業づくり入門　（柳田良雄先生）

※運営委員の柳田良雄先生に千葉県よりお越しいただきます。今回は小学校教材ですが、中学校・高校でもアイデアはじめヒントとなることがあると思います。

※「国語の授業がどうも苦手、上手くいかない」「物語の授業、感想ばかりでいいの？」「群読に取り組ませてみたい！どう指導したら？」という先生方、ぜひ今回ご参加下さい。お待ちしています。  
※参加費：お一人５００円（会場使用料・資料代としてお願いします。）  
※参加申し込み　用意する資料数の関係で、メールにてご連絡願います。　　　　　　　[**tamekokugo@yahoo.co.jp**](mailto:tamekokugo@yahoo.co.jp)

（今回不参加でもメールをいただければ次回以降ご案内します）  
◆アクセスマップ 川崎市立教育文化会館  
　http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-11-1-1-0-0-0-0-0-0.html  
　　ＪＲ・京浜急行　川崎駅より、徒歩およそ１５分。  
　 　ＪＲ川崎駅前（東口）からバスも出ています。

◆終了後、近くの餃子の美味しい店で軽く懇親会も予定しています。

ＨＰは「読み研」で検索下さい。

◆初めての方、もちろん大歓迎です！

お気軽にご参加ください。お待ちしています。  
◆問い合わせ先　上記メールアドレスまたは建石まで

（川崎総合科学高等学校全日制国語科　044-511-7336）

**5月の第一回神奈川学習会の報告　　5月16日川崎市教育文化会館**

**県内の先生方を中心に、25名もの先生方にご参加いただいて第一回学習会を開催しました。**

内　容：①小学校の物語の授業を考える　 －教材「スイミー」を例に－  
構造をよむと、どこを読んだら良いのかが見えてくる、そして技法にも注目する、そんな教材研究と授業について、班になって考えました。（担当・建石）

②説明的文章の教材分析　「想像力のスイッチを入れよう」  
新しい教材の教材研究に取り組みました。班で構造を読んだり、吟味をしたりしました。（担当・建石）

③言語活動の授業のヒント（１）　新聞作りのポイント

新聞作りを子どもにさせるときに、どんな点に気をつけるといいのか、そういった細かくも生徒のやる気につながる点を確認しました。（担当・建石）  
④楽しい国語の授業の仕掛け　（臺野芳孝先生）

運営委員の臺野先生にお越しいただきました。

詩「イナゴ」を利用して、詩の教材分析、授業作りについて、班で考えました。この模擬授業が大好評でした。最後に、「マラソン・クエスト」という臺野先生渾身のイラストが入ったカードが配られました。

**参加の先生方のアンケートから（抜粋）**

◆読み深めていく楽しさを感じました。一人では浮かばない意見を聞くことが出来てとても楽しかったです。（川崎・小）

◆自分自身の教材研究として、大変勉強になりました。（川崎・小）

◆教材を教員が「面白い！」と思うことで、子ども達に面白いと思ってもらえる授業づくりができるのだと、意識できました。読み方を知ることで、班での学習活動を深められえると思いました。（川崎・小）

◆構造よみから、次の課題が見つけられるという流れがすごくよくわかりました。（川崎・小）

◆教材分析の仕方など、とても勉強になりました。（横浜・小）

◆子どもの気持ちになって、読むことの楽しさを感じました。

（横浜・小）

◆考えていくことで、自然と読みが深まったように感じました。子ども達にも、夢中で考えていたら読みが深まったというような経験をさせてあげたいと思いました。（川崎・小）

◆実際の文章を読みながら考えることができて、とてもためになりました。

